

第2期 活動計画書

2026年4月

一般社団法人ソシオリラクゼーション協会

代表理事：中園めぐみ

■ 第2期 活動方針と行動目標

第2期は、**ソシオリラクゼーション協会に関わる個人や企業を増やし、ケアの認知を広げていく一年**と位置づけています。

そのために、以下の取り組みを行ってまいります。

■ 訪問ケアを通じた認知拡大

- ・体験導入メニューをスタートし、まずはケアを知っていただく機会をつくとともに、セラピストとの関わりを通して安心できる時間を提供する
- ・訪問ケアの継続提案を行い、関係性の構築につなげることで、ケアに触れる機会を積み重ね、日常の中にケアがあるイメージの定着を目指す
- ・訪問ケア施設をご紹介いただいた施設様には、ケア人数の追加や職員様・利用者様向けミニ講座などの特典をご用意し、現場に還元できる形での制度設計を行う
- ・訪問ケアの流れや安全管理を統一したマニュアルを整備する

■ 公式Instagramでの発信

- ・日常で取り入れられるセルフケアの紹介
- ・触れるケアの考え方やポイントの発信
- ・掲載許可をいただいた施設様での活動報告
- ・利用者様や職員様からのお声の紹介
- ・講話・イベント・訪問ケアの実績発信
- ・協会セラピストのパーソナルが伝わる動画発信

■ 協会員のフォローアップと活躍機会の創出

- ・協会員向けに現場同行や実践機会を定期的に設ける
- ・協会イベントを年2回実施し、協会員が実践できる場と、活動を広げる機会を創出する
- ・協会員の活動を発信し、個人の活躍の場を広げる
- ・外部講師を招いた協会員向けセミナーを企画し、現場で行えるケアのフォローアップを行う

■ 講話活動の強化（子ども・教育現場）

子どもたちを取り巻く環境の中には、自分を認められる経験が少ないまま成長しているケースもあります。2期目では子供達や保護者や教職員の方々に向けた講話やイベントの機会を増やし、関わり方の大切さを伝えていきたいと考えています。

活動内容

- ・子ども、保護者、教職員に向けた講話機会の創出（子供施設・教育施設）
- ・社会との関わりの中でつまづきを経験した子どもたちに対し、安心できる関係性や自己を認める感覚を育む関わりの機会をつくる
- ・触れるケアや日常の関わりが心に与える影響についての理解促進
- ・幼少期からの関わりが安心感や自己肯定感の土台になることの発信する

■ スポンサー・企業連携の拡大と寄付制度の活用

イベントや講話ごとにスポンサー枠を設けるとともに、個人・企業が参加できる寄付制度の仕組みを整え、関わる方の輪を広げていきます。

また、助成金制度の活用を通して企業・団体との接点を増やし、活動の広がり信頼性の向上につなげていきます。

寄付制度を通して集まった資金は、経済的な理由によりケアを受けることが難しい方や施設への支援に活用し、必要な方へケアが届く環境づくりを進めます。

- ・貧困家庭や支援を必要とする子どもたちへのケア提供
- ・資金的に継続利用が難しい施設への無償または低価格でのケア提供
- ・母子支援施設や福祉施設へのケア支援
- ・寄付金の活用内容（誰にどのようなケアを届けたか）の可視化と発信

■ 医療施設へのアプローチ強化

- ・医療施設向けにケアの内容や目的をまとめた資料を作成する
- ・既存の実績（がんサロンや看護師向け講座など）をもとに、医療現場でのケアの有効性を伝えながら、他の医療機関への提案・営業活動を行う

人との関わりを通して、ケアの価値が自然と広がっていくよう、関わる個人や企業を増やししながら、ソシオリラクゼーションの認知と理解を深めていく一年として取り組んでまいります。